

2017年10月17日

イオンフィナンシャルサービス株式会社

株式会社内田洋行

## 居心地にこだわった「セミオープンブース」 内田洋行と共同開発

イオンフィナンシャルサービス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：河原健次、以下、当社）は、株式会社内田洋行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大久保 昇、以下、内田洋行）と次世代型店舗構想の一環として、お客さまの居心地、快適性に最大限配慮した「セミオープンブース」を共同開発いたしました。

### ■ 設置イメージ



当社の子会社であるイオン銀行は、イオンのショッピングセンター内を中心に、「親しみやすく、便利で、わかりやすい銀行」を目指し、365 日原則朝 9 時から夜 21 時まで営業する店舗を全国で 138 展開しております。

当社および内田洋行は、ショッピングセンター内のにぎやかな環境の中で、よりお客さまに安心かつ快適にご相談いただける相談スペースの開発に取り組んでまいりました。

研究の中で、相談スペースにおいては完全個室ではなく、圧迫感の無い気軽さが必要であるという結果から、半個室かつプライバシーに配慮した「セミオープンブース」の形態を採用しました。ブース内は座り心地を最優先したソファ席を設置。にぎわいのなかでもスタッフ・お客さま双方の声がよく聞こえるよう調音パネルを施し、ご相談に必要な音声は確保しながらも外部の音はパネルが吸収する構造により、お客さまが安心かつ快適にご相談いただける環境を実現しました。

本ブースの実証実験を 10 月中旬よりイオン銀行イオンモール成田店にて開始し、以後、順次設置店舗を拡大する予定です。

当社は、お客さまに気軽にお立ち寄りいただける店舗デザインや便利でわかりやすい金融商品、サービスを提供するため、先進的な技術をとりにれた研究開発に取り組んでおります。内田洋行グループでは、「デザイン」「モックアップ開発」「各種素材の選定・調達」「製造」「施工」「保守メンテナンス」の全ての開発段階でプロジェクトマネジメントとコーディネートを行う多くの実績があります。

両社は、今後もこれら相互のノウハウを融合して、店舗においてお客さまにとって最適な空間を提供するとともに、さらなるお客さまサービスの向上を図ってまいります。

以上

## 【セミオープンブースの特徴】

### ① お客さまが親しみやすく、快適にご相談いただける半個室型のデザイン



セミオープンブース全景

完全クローズではなく、圧迫感の無い気軽さが必要であるという研究結果から、半個室でプライバシーに配慮した「セミオープンブース」の形態を開発いたしました。入りやすいデザインを採用し、ブース内部は座り心地に最大限配慮したソファ席で、ご家族やグループでご一緒にお越しいただいてもゆっくりとご相談いただける環境を設計しています。

### ② 音声等に対する遮断効果の向上

ショッピングセンターの賑わいのなかでもお互いの声がよく聞こえる調音パネルの検証テストを行い、設置しています。これにより金融サービス紹介のための必要な音声は確保しながらも、余計な音はパネルが吸収する設計となっています。プライバシーに配慮しつつお客さまが集中できる環境を構築しています。



セミオープンブース内部

### ③ ICT 活用によって、サービスへの理解を深めるための工夫

ケーブル配線やPC 備品が美しく収まるようなテーブルの開発、お客さまの足元が引っかからないための配線ダクトなどを考慮したデザインを試作品から開発し、検討を重ねて採用しています。

### ④ ノックダウン方式の活用

継続した活用を考慮し、組み立て、解体が可能なノックダウン方式を採用しております。メンテナンス性に優れ、ブース自体を簡単に移動させることができ、移転先での再利用や施工期間の短縮が可能となります。

### ⑤ アイキャッチとなる箱型デザイン

店舗の外からも目立つ丸みを帯びたデザインで、個室相談ブースでの利用に限らず、サイネージ、セルフ端末との組み合わせや独立した小型店舗での活用など、お客さまに身近に感じてもらう新デザインとして様々な用途の可能性を検討しております。